

---

## 目次

---

- 【01】 事業報告
  - 留学生等のための総合防災訓練
  - 市町村国際交流協会との防災訓練共催事業
- 【02】 国際理解教育
  - 長居小学校への訪問
  - 「第2回もりぐち de ワールド」
- 【03】 フランスESSEC経済商科大学院大学生研修
  - OFIXインターン プリシリア マハラニ
- 【04】 大阪府外国人情報コーナー
  - 外国運転免許証から国内免許証への切り替えの手続き
- 【05】 JICAボランティア活動報告
  - 世界で活躍する大阪人  
青年海外協力隊 (ルワンダ、理数科教師) 崎山 章

---

## 【01】 新理事長挨拶

---

### ■ 留学生等のための総合防災訓練

7月5日(土)、大阪府堺留学生会館オリオン寮で「留学生等のための総合防災訓練」を実施し、留学生23人、ボランティア7人のほか、府・市町村スタッフ及び見学者、講師、運営スタッフを含め総勢56人が参加しました。新潟市国際課等からも見学に来られました。

この訓練は、大阪が大規模な地震に襲われたことを想定し、留学生等を対象とした避難所体験と、災害時外国人支援に取り組むボランティア等を対象とした多言語支援センター設置訓練を同時に行ったものです。

避難所体験に参加した留学生等のなかには地震等の経験があまりない学生も多く、震災時の身の安全の守り方や避難所での過ごし方等について、DVDを見たりワークショップで話し合いをしながら理解を深めました。現場さながらにブルーシートを敷き、昼食はシートの上で非常食を体験しました。昼からは、避難所に巡回に訪れたボランティアが、被災者役としていろいろな質問をされました。

また、北堺警察署から防犯指導、堺北消防署からは119番通報の仕方や消火器の使い方、AEDを使った心肺蘇生法などの救命救急指導もしていただきました。

一方、多言語支援センター設置訓練では、災害対策本部から流れてくるたくさんの災害情報のなかから、被災者にとって特に必要な情報を選別して多言語へ翻訳し、避難所を巡回して被災者に届け、同時に被災者のニーズを吸いあげるという一連の流れを想定して訓練を行いました。(特活)多文化共生マネージャー全国協議会の時光氏の講義により、まず多言語支援センターの役割や業務の全体像を把握したうえで、情報の多言語への翻訳と避難所巡回をメインに行いました。日本人ボランティアに交じって中国人留学生ボランティアも参加し、日本人、外国人を問わず、自分にできることはなにか考える姿がみられました。

参加者からは、「外国人が災害時の対応を学ぶ貴重なチャンスでした。参加できてよかったです。」などの感想をいただきました。

今後とも災害時の外国人支援事業を実施する予定です。

### ■ 市町村国際交流協会との防災訓練共催事業

OFIXと市町村国際交流協会が共同で開催した外国人市民及び災害時通訳・翻訳ボランティアのための防災・災害時訓練についてご紹介します。

【外国人のための防災セミナー (摂津市国際交流協会)】

今年度の共催事業として、7月17日（木）に摂津市立コミュニティプラザで実施されました。参加者は30人で、うち外国人参加者は9人（4カ国）でした。

吹田市国際交流協会から講師をお招きし、外国人市民等に必要な防災や災害時訓練の基礎知識について、映像を交えながら教えていただきました。全員で輪になっての非常食体験の後、今日の学びや疑問点についての振り返りのほか、外国人参加者の母国の避難訓練や防災教育について話し合うなど、参加者同士の交流も行われました。韓国出身者から「災害の避難訓練はないけど、戦争の訓練はあります。」との発言に、お国柄を感じる一幕もありました。

（アンケートから）

「実際に避難している感じで非常食を食べたり、防災の話をしたら、“文字”だけで勉強するより印象に強く残るようです。いい経験でした。」

「災害に対し、怖い気持ちがあるけど、どうしたらいいか教えていただきましたので、少しイメージができました。」

【外国人のための防災訓練（とよなか国際交流協会）】

7月25日（金）、外国人47人（12カ国）を含む87人の参加者を得て、とよなか国際交流協会を会場として実施されました。豊中市北消防署による講義や、とよなか国際交流協会職員の先導による避難訓練に続き、心肺蘇生法とAEDを使った救命救急の訓練等も行われるなど、盛りだくさんな内容でした。外国人参加者も通訳を介して熱心に応急手当の実践訓練を学んでいました。

また、地域の防災士の方から「家にある物ですぐに作れるバスタオル防災ずきん」の現物を見せていただき、災害の備えについて身近に考える機会にもなったようです。

（アンケートから）

「人の命をどうやって助けるのかについて学べ、とてもいいセミナーで役に立ちました。」

「何かが起こったら、生き残れるようにがんばりたいと思いました。」

「とても重要な情報で、すべての人が必要としていることだと思いました。」

こうした共催事業についてご興味のある市町村・市町村国際交流協会等は、OFIXまでお問い合わせください。

---

## 【02】国際理解教育

---

### ■ 長居小学校への訪問

OFIXでは、大阪の国際化の促進を目的として、国際理解教育外国人サポーター派遣事業を実施しています。この事業では、OFIXに登録している府内に住む外国の方をサポーターとして、大阪府内の小・中学校や高校に派遣して、母国の歴史や文化等を子どもたちに教えています。

6月26日には、ベトナム、インドネシア、スリランカ、ブラジルと中国の5カ国から5人の外国人サポーターが大阪市立長居小学校を訪問しました。6年生の全児童に歓迎されながらのサポーター全員の簡単な自己紹介が終わってから、それぞれのクラスに分かれました。サポーターは任されたクラスで母国の風土や文化の紹介のほか、歴史、教育事情、ゲーム等を発表して、子どもたちと交流しました。

ベトナムのサポーターはベトナムの多様な食文化を紹介しました。特にベトナムの屋台料理と果物は見たことのない料理と果物ばかりで、子どもたちは、食べてみたそうな目で写真を見ながら、興味深々に話を聞きました。

インドネシアのサポーターが紹介した内容で一番印象的だったのはインドネシアの島の多さとインドネシアで見られる動物、特にコモドオオトカゲでした。

スリランカのサポーターは民族衣装のサリーを見せたり、児童に着せたりしました。初めてサリーを見た児童たちは、それが1枚の布だったと知ってとても驚きました。

ブラジルのサポーターはブラジルの華やかな祭りとスポーツについて

て話しました。クラスにはサッカーが好きな児童が多くて、サッカーではなく、バレーボールがブラジルでは一番のスポーツだということがわかって、とてもびっくりしていました。

中国のサポーターは遊びの一種である足ジャンケンを紹介しました。同じジャンケンなのに手ではなく足を使うものがあることに子どもたちはびっくりしました。最初はうまくできなかったけど、少し練習したらリズムに合わせて足ジャンケンができ、クラスはたいへん盛りあがりました。

当日に参加していた教員と保護者の感想は次のとおりです。

#### 教員の声

「それぞれの国の文化を知ることで、自分自身を振り返り、『相手の気持ちを考えて行動する』『友達が困っていたらそっと寄りそう』などともに生きることの大切さを理解することができました。」

「5カ国の方に来ていただけたので、それぞれの国の文化の違いを知ることができました。また、自国と似ているところや違うところを感じ、日本の国のことを外国の方に知ってほしいという心が芽生えたように思います。」

#### 保護者の声

6月26日、娘の通う大阪市立長居小学校にOFIXの外国人サポーターの皆さんが来てくださいました。子どもたちは地形や風土、有名な料理や日本との関わりなどのお話を聴いたり、祖国の遊びを教わりました。楽しく盛りあがって、廊下にまで笑い声が響いていました。後日グループごとに作成した壁新聞を見せていただきましたが、同じ国の壁新聞でもクラスによって内容が違っていて、短い時間にたくさん興味深いお話を聞かせていただいたことがよくわかりました。貴重な体験をさせていただき、どうもありがとうございました。

### ■ 「第2回もりぐち de ワールド」 守口市在日外国人教育研究協議会

6月29日（日）に外国にルーツをもつ児童・生徒・保護者の集い「もりぐち de ワールド」が守口市立守口小学校で行われました。昨年度から守口市在日外国人教育研究協議会（市外教）主催の行事として、市全体で取り組んでいます。テーマは、「同じ立場の仲間と出会い、仲よく遊ぼう」です。

市外教運営委員の先生方、守口市教育研究会民族部会の先生方や、引率の先生方の協力のもと、「衣装」「韓国朝鮮」「フィリピン」「ベトナム」「中国」のコーナーを子どもたちがチームを組んでまわり、活動を通じて仲良くなろうという取り組みです。今回は絵本の読み聞かせもプログラムに入り、より充実した内容を目指しました。当日は中国、フィリピン、韓国・朝鮮、タイ、台湾、インドネシア、ネパール、ペルー、ベトナムの9か国・地域にわたる、外国にルーツをもつ子どもたち（幼4人、小43人、中6人、計53人）、保護者（24人）に教職員（60人）をあわせて約130名集まっていただきました。半日のみの集いでしたが、体育館に笑い声や歓声が響き、楽しく思い出深いひとときになりました。絵本の読み聞かせでは、保護者の方にも母国語で絵本を読んでもらいました。目を輝かせて聞き入っている子どもたちの姿がとても印象的でした。その国の文化やことばを大切に、外国にルーツをもつことに誇りをもって生きていけるように、このような取り組みを継続していく必要性和意義を改めて感じる機会となりました。

いただいた感想は次のとおりです。

#### （児童・生徒の声）

- ・「本がすごかったです。タイのことばは、0歳のときいたことがあります。」
- ・「フィリピンの遊びのほかにもいっぱいあったのしいです。フィリピンに1かい行ってみてください。そして、その遊びをしてみてください。」
- ・「お母さんに本を読んでもらって、すごうれしかったです。また、遊んでもらってすごうれしいです。」

---

### [03] フランスESSEC経済商科大学院大学生研修

#### ■ エセック枚方研修について（公財）枚方市文化国際財団 星野 あい

大阪府とフランス・ヴァルドワーズ州とが友好都市提携を結んでおり、平成4年に大阪府から協力依頼を受け実施しています。エセック枚方研修は企業研修のために来日するエセック経済商科大学院大学生が日本の生活や文化を学ぶために枚方に滞在するもので、今年で23年目となりました。今年は、12人の学生がこのプログラムに参加し、6月28日から2週間枚方市内にホームステイで滞在しながら、ホストファミリーとの暮らしや日本語学習、日本文化体験、市内企業訪問などを通して市民や日本の学生たちとの交流を行いました。エセックの大学生は日本の文化に興味を持って参加していましたが、ぎっしりと詰まったスケジュールに少し疲れがみえることもありました。しかし、個人の旅行では味わえない充実した内容のプログラムで貴重な2週間でした。来日前からESSECで日本語を履修していた学生たちですが、枚方滞在中の2週間で日本語がとて上達していました。研修中の4回の日本語教室はもちろん、学生たちを見守ってくださったホストファミリーの皆さんとの交流が学生達の日本語上達の助けとなったようです。現在日本にてインターンシップ中の学生たちがこの体験をもとに今後世界で活躍していくことが楽しみです。

#### ■ 参加した学生の声

ジェンナ・アイトウアクィ

私たちは、この2週間の枚方研修を決して忘れないと思います。私たちの小さなグループの一人ひとりにはそれぞれの日本への興味があります。本棚が漫画でいっぱいの人や着物試着への長年の夢を持つ人や最先端技術の魅力に惹かれた人などがいます。枚方研修では、日本の文化が紹介され、その複雑さと多様性を学びました。尊敬されている専門家のもとで、生け花、茶道、伝統的な音楽、書道などの伝統芸能を体験する素晴らしい機会を得ることができました。ビジネススクールの学生として、日本のビジネスマンと出会い、あらゆる規模の企業を訪れることができました。日本の学生とも交流して、美味しい日本料理も味わって、美しい場所も訪れました。このような特別な環境で日本の伝統や文化やビジネスなどについて学べることでできて、光栄でした。

---

### 【04】大阪府外国人情報コーナー

---

#### ■ 外国運転免許証から国内免許証への切り替えの手続き

大阪府内に居住の方で、有効な外国免許証から日本の免許証への切り替えの一般的な流れは、外国免許証を取得した状況の口頭質問及び書類審査→視力・運動機能等の適性試験→知識確認→技能確認日を予約→技能確認です。以上の全てに合格すれば、免許交付（ただし、知識確認・技能確認が免除される国があります）となります。

知識確認とは：日本の交通ルールを正誤（○×）式で行います。絵図（イラスト）を用いた10問の問題があり、7問正解で合格となります。多言語対応あり（日本語、英語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、ペルシャ語、ロシア語、タイ語、タガログ語、ベトナム語）

技能確認とは：申請された免許種別ごとに、運転免許試験場内の試験コースにおいて試験車両を運転して行います。100ポイント中70ポイントで合格となります。

申請の条件や必要書類については  
「大阪府警察ホームページ」⇒「各種手続き」⇒「運転免許に関する各種手続き」⇒「Q&A こんなときは...」⇒「Q1 外国（英国）免許から国内免許への切り替えの手続」

門真運転免許試験場 免許審査係06-6908-9121（内線351）  
光明池運転免許試験場 審査係0725-56-1881（内線351）

#### 【大阪府外国人情報コーナー】

対応時間 : 9時から17時30分（月曜から金曜）  
相談直通電話 : 06-6941-2297  
対応言語 : 英語、韓国・朝鮮語、中国語  
ポルトガル語、スペイン語、タイ語  
フィリピン語、ベトナム語、日本語

---

### 【05】JICAボランティア活動報告

---

■ 世界で活躍する大阪人  
青年海外協力隊（ルワンダ、理数科教師） 崎山 章

【青年海外協力隊参加のきっかけ】

ルワンダのことを何ひとつ知らなかった私が、今、青年海外協力隊としてルワンダで暮らしているのは、東南アジアを旅行中に、家庭の貧しさから初等教育を受けられなかったという青年に出会ったのがきっかけです。弟を学校に行かせるために、独学で英語と日本語を覚え、観光客にジュースを売っている青年の姿を見たとき、私は「誰かのために何かしたい」という気持ちになり、青年海外協力隊に応募しました。

【世紀の大虐殺から20年、奇跡の復興が進むアフリカの小国ルワンダ】  
ルワンダはアフリカの中央部に位置する面積が四国の1.5倍ほどの小さな国です。年中初夏のような陽気で、ルワンダ人の人柄は、温厚でとても優しく少しシャイです。

そんな今の彼らの姿からは想像できませんが、今から20年前、ルワンダでは内戦が激化、「ルワンダ大虐殺」が起きました。たった3か月間で子どもからお年寄りまで延べ100万人の人々が亡くなったといわれています。過去の悲しみを乗り越え、ルワンダは今、「アフリカの奇跡」と呼ばれるほど、急速な発展を遂げています。

【ルワンダでの青年海外協力隊活動】

「ICT（情報通信技術）立国」を目指しているルワンダでは、現在、その基礎となる理数科教育に焦点をあて、技術者の育成に力を注いでいます。私はルワンダで、中等高等学校で物理と数学の授業を担当し、各地の学校でワークショップを実施しています。

ルワンダの学校の朝は早く、7時20分の金ダライをたたく音（チャイム）で一日の授業が始まります。1クラス50名ほど、生徒は狭い3人掛けの長椅子に肩を寄せながら座り、青インクのボールペンで先生の板書を一生懸命自分のノートに書き写します。夕方4時に一日の授業が終わると、生徒たちはサッカーやバスケットボールをして友だちと楽しく過ごします。

【ルワンダで気づいたこと】

ルワンダに来て気づいたことは日本の学校教育のレベルの高さです。写真がたくさん載っている教科書や参考書、資料集、数えきれないほどの文房具があり、学校には理科室や図書室、コンピュータールームが設置され、バラエティに富んだ給食。日本ではあたり前のことですが、ルワンダにはこのようなものはほとんどありません。電気がなく薄暗い教室、雨漏りする校舎。毎日、同じメニューの豆のスープとイモの給食。座学中心の単調な授業。教育に関する問題は山積みですが、現地の教員たちとともに、どのようにしたら生徒たちにわかりやすい授業ができるか、アイデアを共有しながら活動しています。目を輝かせながら真剣に実験を見ている生徒の姿や、「（実験や科学イベントなどを）またやってほしい！！」という生徒の声に、いつも励まされながら、これからも、生徒たちの無限の可能性がルワンダの明るい未来を導いてくれると信じて、生徒たちと真摯に向き合い、科学の楽しさを伝えていきたいと思います。

編集後記

- 日本の夏はとても暑いですね。やっと9月になって、紅葉の秋が待ち遠しいです。今年もきれいでしょね。(Tan)

---

★大阪府メールマガジン情報★ 『GEO (Global E-net Osaka)』  
大阪で開催されるイベント・大阪の名所・大阪に関する豆知識等を紹介するメールマガジンです！

⇒ <http://www.pref.osaka.jp/kokusai/geo/index.html>

★その他の募集・お知らせ★

※国際理解学習の授業（小中高）に国際交流員や留学生等を派遣します。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/training/education/index.html>

※OFIXボランティアの登録制度のご紹介

⇒ <http://www.ofix.or.jp/accept/volunteer/system.html>

※OFIX賛助会員の募集及びご寄付のお願い。

⇒ <http://www.ofix.or.jp/ofix/support/index.html>

---

≫≫ OFIXニュースについてのご意見、ご感想はこちら

⇒ [info@ofix.or.jp](mailto:info@ofix.or.jp)

≫≫ 配信中止、配信先変更はこちら

⇒ [http://www.ofix.or.jp/info/mail/register\\_j.html](http://www.ofix.or.jp/info/mail/register_j.html)

≫≫ 「OFIXニュース」印刷版はこちら ※写真入りで内容も詳細に。  
⇒ [http://www.ofix.or.jp/info/mail/backnumber/pdf/mail\\_japanese\\_no69.pdf](http://www.ofix.or.jp/info/mail/backnumber/pdf/mail_japanese_no69.pdf)

≫≫ バックナンバー  
⇒ <http://www.ofix.or.jp/info/mail/backnumber/index.html>

=====  
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
発行：(公財)大阪府国際交流財団 (OFIX)  
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか5階  
TEL 06 (6966) 2400 FAX 06 (6966) 2401  
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆